

第2期

阪神北地域ビジョン委員会 活動報告書

# わたしたちは こんな活動をしてきました



三田市高平の観福寺ビジョン委員 早川 安夫 作 平成16年度作品(80号)水彩

## 委員長あいさつ



### 活動報告書の発刊にあたって

ビジョン委員の皆様におかれましては、この2年間の活発な活動、本当にご苦労様でした。ビジョン委員として、やり遂げたこと、積み残したことなど、いろんなことがあったと思います。考えますと、この2年間の行動プロセス（過程）がビジョンそのものではなかったでしょうか。今後とも、持続してビジョン活動を支えていただくことを切望いたします。

阪神北地域ビジョン委員会 委員長 中瀬 勲

## 副委員長あいさつ

委員の皆様とともに活動に取り組み、任期を終えることができ喜んでいきます。異なった文化を持つ方々が、ビジョンの実現に向けて一つになって活動したことは素晴らしいことです。常々地域の将来を考える方々が、互いに友情をもって行動する、その心の豊かさこそ情報化社会へと大きく変化する中において重要な意味を持ってくと信じます。

阪神北地域ビジョン委員会 副委員長 西浦 道雄

## メッセージ

ビジョン委員の皆様、2年間大変お疲れ様でした。皆様のご努力下、1期目のプログラムづくりから2期目の実践活動へと活動も活発化し、ビジョン委員の認知度も徐々に広がりました。引き続き委員としてご活躍いただく皆様とともに、委員を今期で離られる皆様におかれましても、今後とも継続してビジョン実現に向け地域活動に取り組んでいただき、参画と協働の輪が広がっていくことを期待しております。

阪神北県民局 局長 表具 喜治

## メッセージ

いつも同じことを言っているようではありますが、限られた時間制約の下で、非常に活発な活動を継続されたことを驚嘆しています。今回、ビジョン委員を退かれる方がかなりいらっしゃいますが、今後とも地域活動の中核として、参画と協働の実践の場で貴重な経験を発揮して、ご活躍されることを期待しております。

阪神北地域ビジョン委員会 顧問 小西 康生

## 専門委員メッセージ

第2期で印象的だったことは、ビジョン委員の呼びかけで連絡調整会議が立ち上がったことです。委員会の活動を実のあるものにしようという思いの現れであり、次期にもそのノリが伝わればと思います。委員のみなさん、お疲れさまでした。

第1分野担当 藤本 真里

阪神北地域は、自然に恵まれた文教都市として発展してきました。これは資質豊かな住民のみなさんの努力の賜物です。今後もこのかけがいのない環境を住民自らの手によってより豊かにされていくことを期待いたします。

第3分野担当 澤木 昌典

第2期ビジョン委員の皆様、大変お疲れ様でした。イベント、シンポジウム、その他様々な取り組みを通して阪神北地域における市民公益活動の芽が育ちつつあると思います。今後は、点から線、そして、線から面へと活動が広がっていくことを期待したいと思います。

第2分野担当 金川 幸司

地域の賑わい創出には、地域の個々人が地域に関心を寄せることが根底に必要です。散策ルート発掘や名所散策等は、冊子や報告書を見ることより、それに参加すること自体に意義があります。無関心や意思疎通不足が、まちが生き活きしないことの最大の原因かもしれませんね。

第4分野担当 沖野 光二

## プレーパークでつないだ地域

ライフスタイルグループ代表 赤松 弘揮

### 1 グループの目的（目標）

第2期ライフスタイルグループは、プレーパークを通じて地域のコミュニティや自治会と協働し、他の地域に発展させることを目標にした。

### 2 活動内容（実績）

当初の第1期任期時の実践活動計画は、ビジョン委員会のシステム化・プログラム化の意味が深く理解できず、頓挫した。結果、第2期では、「冒険広場（プレーパーク）」という活動を主軸とし、以下のような実践活動を行った。（実践活動の主体は地域住民であり、ビジョン委員は事業のサポートを行うものである）

#### ①猪名川町つつじが丘自治会にて

平成15年・16年の2回にわたる冒険広場開催のサポート

#### ②川西市北陵地区子ども会

平成16年 プレーパーク開催のサポート

#### ③パソコンによる地域ネットワークづくりへのアプローチ（アンケート実施）

#### ④川西市多田小学校区防災会

平成15年・16年 プレーパークから防災訓練へ発展

#### ⑤任期終了後の任意の社会貢献活動団体として、グループを平成17年2月21日設立。

（Disaster and Play park Center=DPC）

活動の主軸は「プレーパーク」であるが、子どもたちへの防災教育として、防災・防犯のための紙芝居づくり、パネルづくり、またこれを多くの外国語に翻訳し、インターネットを利用した海外への発信 など。楽しく、おもしろい活動を展開していく。

### 猪名川町つつじが丘冒険広場



炊き出し準備



木工広場



竹筒炊飯



足湯



ドラム缶風呂

### 3 活動成果

プレーパークからさまざまな地域活動へ展開。



川西北陵地区子ども会



川西市多田小学校区防災会



### 4 問題点とその対応

1：ビジョン委員は、他の地域活動に容易には受け入れられないので、ビジョン委員の所属地域で活動することになった。

2：ビジョン委員の地域との関わり方／地域主体で活動し、ビジョン委員はサポーターとして関わる。

※プレーパークとは、既成の遊具や公園で遊ぶだけでなく、土をいじり、木を切り、子どもたちの創意工夫で自由に遊ばせることと考えている。

## 「世代間交流を通じて、高齢者の問題を考える」 いきいきはつらつシニアも元気

世代間交流を考える会代表 堀 信義

### 1 グループの目的（目標）

1. シニアの新たなライフスタイルを考える
2. 世代間交流を考える  
世代を超えての交流を深める

### 2 活動内容（実績）

#### ◇「高齢者ふれあいフォーラム」の開催

平成16年2月22日（日）

宝塚市立東公民館で開催

・ テーマ 「21世紀の第二の人生を語ろう」

・ 参加者：82人

・ 基調講演

「高齢者の健康と生きがい」

藤井 義正 元 阪神シニアカレッジ副学長

・ 高齢者の主張・提案発表

・ パネルディスカッション

テーマ 「高齢者はこう考える」



次に、こうした活動を通じて確認できたことは、高齢者の問題とは高齢者だけの問題ではなく、世代を超えて高齢者となる前の人々とも交流を深めて考えていかなければいけない問題だということがわかりました。そこで、グループの名称も「世代間交流を考える会」と改め、若い人々の参加を求めて、高齢者と若い人々がいっしょになって今後の高齢社会をともに生きるための知恵を探っていく場をつくる活動としていくこととなりました。

こうした考えにより、「世代間交流」をキーワードに、高齢者・子育て中の親、学生および地域団体の方々に参集していただき、活発な意見交換を図るフォーラムを地域（三田市-第1回、伊丹市-第2回）ごとに開催していくこととなりました。

#### ◇ 第1回 「世代間交流のあり方を考える」フォーラム

■平成16年10月3日（日）

県立人と自然の博物館で開催

・ テーマ 人口減少社会に向けて世代間交流のあり方を考える

・ 基調講演

「人口減少社会を考える」

畑 正夫 兵庫県県民政策部ビジョン担当課長

・ グループディスカッション：

（1）男性の社会復帰を考えるグループ

（2）子育て支援グループ

（3）「世代間交流」でまちづくりを推進する

[家族のあり方を考える] グループ



#### ◇ 第2回 「世代間交流のあり方を考える」フォーラム イン伊丹

■平成17年3月20日（日）

伊丹市立産業・情報センターで開催

・ テーマ 21世紀の第二の人生を語ろう

・ 基調講演

「21世紀兵庫長期ビジョン～これまでの歩み～」

北野 信雄 阪神北県民局企画調整担当参事

・ グループディスカッション：

「世代間交流を考える」世代間のコミュニケーションの向上

#### ◇ その他交流会の開催

・ 阪神南地域ビジョン委員会 高齢者問題グループ「いきいきフォーラム・シニア21」との交流

・ 阪神北以外の他の県民局とのグループ提携、連携と啓発活動の模索

## スポーツで10代の居場所づくり

ドリーミィ・ユースグループ代表 安積 恵美子

### 1 グループの目的（目標）

私たちのグループは、不登校の子どもたちの問題と中高生いわゆる青少年が地域参加できる交流の場の推進をテーマに実践活動を行う。

### 2 活動内容（実績）

- \* (1) 平成15年11月：家庭に引きこもりがちな青少年を野外に誘い、スポーツイベント「ドリーム・スポーツ」を開催。

地域のスポーツ活動に積極的なNPO団体（伊丹市）や、中高生の居場所作りを考える宝塚市ファミリースクール（社会教育課発案）の協力で、プロのテニスコーチやサッカーコーチなどに声をかけ、クラブ活動などの経験がない青少年も受け入れて、小学校高学年から高校生までが同じエリアで交流することで、青少年の居場所作りを行った。子どもたち父兄あわせて約100人の参加があった。



- \* (2) 平成16年2月：子どもたちにメッセージを送りたい、とアメリカでNBAを目指すバスケットボールプレイヤーの森下雄一郎選手は、私たちの活動に賛同し、自身の体験談の講演とトークショーを開催。

- \* (3) 平成16年8月：歯学博士で日本テンプレート協会理事長前原潔氏による講演「歯のかみあわせが及ぼす心身の健康」を開催。歯のかみ合わせを改善することにより、不登校の生徒が1・2ヶ月で登校できるようになった実績を学ぶ。

- \* (4) 平成17年2月：阪神・淡路大震災10年復興支援イベント「スポーツと文化の祭典」

主催者兵庫県テニス協会などの依頼を受け、後援団体として参画。バスケットボールクリニックを開催。森下雄一郎選手やフラッシュバスケットボールクラブ（芦屋市）の協力で、6歳から高校生まで約80人が参加。本物を見たいと、見学の青少年や父兄も多数参加した。



### 3 活動成果

すべての活動において考慮したのが、青少年の地域との密接な関わりで、多くの地域の団体や個人に賛同が得られた。

「このようなイベントをもっとして欲しい」と多くの父兄の声。難しいといわれる青少年の参加が想像以上に多く、スポーツをしたくてもできなかった青少年から、また新たに希望が持てたとか「やる気」がでてきた、という言葉があったこと。不登校生を持つ父兄から問い合わせがあったこと。

### 4 問題点とその対応

ビジョン委員が地域の中で、いかに参画と協働により取り組むことができるかが大きな問題点である。

## 元気で長生き、生き甲斐づくり

健康で安心して暮らせるコミュニティづくりグループ代表 青樹 英夫

### 1 グループの目的（目標）

- a) 川西市グリーンハイツ地域で新しい発想の下に発足した“悠遊シニア夢くらぶ”の事例研究
- b) 高齢者を対象とした料理教室“元気で長生きできる料理教室”の実施

### 2 活動内容（実績）

- a) 平成16年6月13日伊丹夢会議（いたみホール）において、“悠遊シニア夢クラブ”の活動状況をパネル展示並びに参加者と討議
- b) “元気で長生きできる料理教室”
  - 第1回 平成16年6月22日 伊丹市立中央公民館
  - 第2回 平成16年9月24日 三田市立総合福祉保健センター
  - 第3回 平成16年11月29日 宝塚市中央公民館
  - 第4回 平成17年2月9日 川西市中央公民館

以上4回、テーマを活かしたメニューと調理法で各回約30人の参加者ととも楽しく作り、おいしく食事をしました。食に関するさまざまなテーマについてのお話が大変有益でした。



### 3 活動成果

- a) “悠遊シニア夢くらぶ”の活動力に地域に於けるシニア世代の活性化を研究課題として“ふるさとひょうご創生塾第9期生”の研究発表事例にとりあげられ発表されました。
- b) “元気で長生きできる料理教室”に関して手軽にできておいしく、栄養バランスに配慮し、できるだけ地元農産物を取り入れて実施しました。

### 4 問題点とその対応

- 1. 1,2期の活動方針および具体的活動についての一貫性がなかった。
- 2. 1,2期の委員が混在した活動グループを形成したが、継続委員と新規委員との間に考え方の温度差があり、相互理解を得るまで時間を要した。
- 3. 活動グループの委員の中で全く出席しない方があった。



# あなたの、わたしの、そしてみんなのコミュニティ

コミュニティ第2グループ代表 伊藤 順一

## 1 グループの目的（目標）

『自律と協働による温かいコミュニティをつくる』という大きなテーマの中で、青少年問題・子育て・男女共同参画・国際交流そして防犯・防災・美化等の幅広い分野を対象にコミュニティづくり活動を行う。



▲ふれあい健康ウオークラリー

## 2 活動内容（実績）

- ・平成15年8月4日（月）「ビジョン委員をもっと楽しむために」と題し「ビジョン」とは何かを勉強した。
- ・平成15年10月18日（土）「ありまふじフェスティバル '03秋」実行委員会に参加し、「ふれあい健康ウオークラリー」を実施。スタンプラリーをしながらJR新三田駅から兵庫県立有馬富士公園の間、約3キロを歩くことにより健康増進・参加者間のふれあい・メンバー間の親睦などを図り、約120人の参加を得た。
- ・平成16年3月20日（土）宝塚市立西公民館ホールにおいて、阪神北地域♪ふれあいこんさあと♪～音楽でつなごう温かい地域コミュニティの輪～と題し、出演者と観客の出会いを通じ、心がふれあうコンサートを開催し、270人の参加を得た。
- ・平成16年5月 コミュニティ第2グループとして、インターネット上にホームページを作成した。
- ・平成16年10月24日（日）「ありまふじフェスティバル '04秋」実行委員会に参加し、「ふれあい健康ウオークラリー」を昨年に引き続き開催し、約200人の参加を得た。なお、本事業において台風23号の被害に遭われた方の支援のため募金活動を実施し、4,714 円を兵庫県台風災害義援金募集委員会に寄付した。

## 3 活動成果

- ・すべてにおいて、阪神北地域4市1町というエリアを意識し、各市町の各コミュニティ団体に本事業の案内を送付し、ビジョン委員会の活動をPRした。
- ・ふれあいコンサートでは、4市1町で生まれ、活躍されている音楽グループを公募した結果、9団体に出演



▲♪ふれあいこんさあと♪

いただき、出演者グループ・観客そして主催者と本事業に関わった人たちが感動を共有した。

- ・ふれあい健康ウオークラリーでは、2回の開催ともありまふじフェスティバル実行委員会にグループとして参加することによって、他団体との交流を図るとともに、参加者のふれあいと健康増進に寄与した。
- ・ホームページを開設することによって、コミュニティ第2グループの活動を外部に発信することができた。これらの事業を通じ、市町域を超えた人的交流を図ることができた。

## 4 問題点とその対応

- ・「自律と協働による温かいコミュニティをつくる」という非常に大きな目標に向かうには、年に数回の単発イベントを重ねるだけでは不十分すぎるのではないかと？
- ・コミュニティ活動は阪神北地域の各市町でも懸命に取り組んでおり、中間支援的活動として各コミュニティ活動に役立ったかどうか疑問。
- ・ビジョン委員会自体の知名度の低さから、事業準備の段階でスムーズに事が運びにくい。
- ・ビジョン委員会へ参加する委員の考え方ややりたいことに違いがあり過ぎ、活動グループ内の方向性が定まりにくい。

など、さまざまな問題が2年間を通じ常態化し、初めて出会う多様な個人が、力を合わせひとつの目標に向かうことは困難を要します。それは、一つひとつのプロセスを大切にして行くことで解決して行かねばなりません、とても時間と手間がかかることを覚悟しなければなりません。

また、県民に参画と協働による「新しい公」の創出を理解していただくためには、その理念の中心的担い手としてのビジョン委員会活動そのものが有意義であることにかかってくると思います。いずれにしても、行政任せでないまちづくりへの挑戦は始まったばかりで、今後も無駄や徒労を積み重ねながら一步一步前進あるのみと考えます。

## 心がけ一つ、ゴミ減量

ゴミ問題グループ（地球温暖化も含む）代表 国山 昌広

### 1 グループの目的（目標）

今や地球規模の最重要課題である「ゴミ問題」について、地域市民への普及啓発を図りその実践のために、プランナーおよびコーディネーターとしてボランティア活動をしていこうとするグループです。

### 2 活動内容（実績）

- ・平成15年11月21日  
武庫川流域・宝塚市ソリオホール会議室 32人「エコバス」と夢会議 ゴミ及び環境問題のレクチャー
- ・平成16年1月25日  
三田市民会館 111人「さわやかな環境づくり」夢会議へ出展。講師 澤木昌典 大阪大学大学院助教授（専門委員）
- ・平成16年3月27日  
宝塚商工会議所 31人「都市環境を考える」夢会議。講師 岩井珠恵 県景観形成審議会・県広告物審議会委員
- ・平成16年6月13日  
いたみホール 150人「阪神北地域夢会議 さわやかフォーラム」知事と語ろう ポスターセッション
- ・平成16年11月3日  
人と自然の博物館 150人「阪神北地域夢会議」
- ・平成16年12月4日  
いたみホール 120人「こどもと地域の環境会議」コメンテーター 中川芳江 県環境審議会委員・中瀬勲 県立大学教授（阪神北地域ビジョン委員会委員長）

### 3 活動成果

上記の主だった活動の中で、出展の際には我々グループが制作した4市1町の「ごみの収集状況一覧表」・「一人当たり1日排出量」・「ごみ処理量」・「ごみ関係経費」等の比較表を配布し、その啓発を図った。

他方、グループ全員が「地球環境10%クラブ」に登録し、エコライフに挑戦している。

また、毎月1回の月例会議の議事録をグループ副代表の金澤委員がその都度発行し、グループ内でのテーマの共有化を図った。

### 4 問題点とその対応

任期は2年ということもあり、初年度はテーマについて、月例会議でお互いの問題意識、知識のすり合わせ、レベルアップを行った。県民局の支援体制については、役所にどれぐらいのことを求めるのかメンバー間でも温度差があり、こうした点を調整していく必要を感じた。

また、ビジョン委員会自体の知名度、認知度の問題もある。一般企業等には、まだまだ知られていない面もあり、今後の活動を通じ、知名度、認知度を高めていく必要性を感じた。

（あとがき）

平均年齢は、68歳強といささか高齢者集団ですが、気持ちだけは若い人には負けないといつも想って活動してきました。

とりわけ、月例会議の出席率は平均6～7割（終盤悪化）、良く学び良く議論しました。



■H16.6.13 夢会議（於：いたみホール）  
ポスターセッションに井戸知事も参加し懇談



# 水は命

水問題グループ副代表 西村 茂

## 1 グループの目的(目標)

全県・阪神北地域ビジョンで実現すべく示された「4つの行動目標」の内、目標3：自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境として循環型社会を成立させようと、特に自然保護を主題とし、水資源に目を向けた取り組みをすることを活動のテーマとした。

## 2 活動内容(実績)

- ・平成15年7月  
「河川愛護月間」にちなみ、管内市町の月間の取り組みを出身市町で聞き取り調査をした。
- ・平成15年11月21日  
武庫川ー現状把握エコバス（前期 猪名川エコバス実施）  
青野ダムー有馬富士公園ー武庫川上流浄化センター  
参加者 40人 参加費 1000円
- ・平成15年11月21日  
「ゴミ・水・都市環境」夢会議  
中川 芳江氏(県環境審議会委員)「ゴミ及び環境について」の講話  
会議テーマ・講話について質疑・討論  
参加者 32人 宝塚市ソリオホール会議室
- ・平成16年1月13日  
猪名川ー現状把握エコバス（阪神南地域ビジョン委員会主催に合流）  
一庫ダムー屏風岩ーふるさと館ー清水・尾花橋（オオカナダモ、ヨシの異常繁茂）ー大島であい公園（自治会・PTAなどの自主的管理）ー大野山ー多田浄水場  
参加者 40人



- ・平成16年12月4日  
こどもと地域の環境会議 いたみホール  
1年以上の時間をかけ、当グループの早川委員が発想し、企画部会、阪神北県民局環境課に加えて3市1町の学校・教育委員会関係先を労を厭わず走り回り会議開催にこぎつけた。

- ・平成17年3月  
“川に親しむーみんなの水辺をとり戻そうー”（武庫川、猪名川の水辺20選マップ） 発刊  
各委員はそれぞれ自主的にグループを作り、武庫川・猪名川および各支流の調査(水質も含め) 検討を重ね、ようやく完成にこぎつけた。



## 3 活動成果

川を通じ阪神南地域ビジョン委員会と連携の萌芽が見えたこと。  
子どもと母親のつながり、子どもの持つエネルギーを参加者が感じとれたことは、これからの事業展開に忘れてはいけない側面と感じた。

## 4 問題点とその対応

「新しいビジョン」とか「新しい公」といった言葉の概念をビジョン委員がどの程度共有してるのか、1年も前から言われ続けているのではないのでしょうか。また、ビジョン委員会も変革の時代に対応する新しい組織であればあるほど、その運営手法は慎重かつ民主的でなければならないと考えられます。反省と点検は全組織的範囲でされるべきでしょう。

## 不法看板はずしてまちを美しく

都市景観問題グループ代表 斧原 孝行

### 1 グループの目的(目標)

安全で快適な都市環境を創造する一環として、街の景観を損ねている要因の一つである「氾濫する不法看板及びこれに類する物件」を一掃することで“美しいまちなみ兵庫”を目指す。そのため、不法看板等の実態把握および対応策を協議し、「不法看板等の実態と対策に関する提言」をまとめた。

### 2 活動内容(実績)

- ・平成15年9月26日、10月27日：宝塚商工会議所会議室  
宝塚市屋外広告物担当者からの不法看板の実態、対応等の説明および意見交換
- ・平成15年11月19日：国道176号の現地調査および簡易除去の実地体験
- ・平成15年11月21日：第3分野第1回夢会議、宝塚市ソリオホール会議室
- ・平成16年3月27日：第3分野第2回夢会議、宝塚商工会議所会議室
- ・平成16年6月13日：夢会議、いたみホール  
ポスターセッションによる活動報告、意見交換
- ・平成16年7月28日：「提言」による県庁都市計画課との意見交換
- ・平成16年10月～平成17年2月

「提言」による阪神北地域の4市1町の担当部局との意見交換

### 3 活動成果

地域住民の参加も得た夢会議において、活動報告や意見交換を通して都市景観問題の意識が啓発された。

また、各市町の屋外広告物担当部局との意見交換を行い、「提言」に対する一定の理解を得られたと思われる。宝塚市及び伊丹市においては、すでにボランティアによる不法看板簡易除去制度が運用されているが、他市町も当該制度に対し理解を示しており、今後の動向が注目される。

### 4 問題点とその対応

ビジョン委員（都市景観問題グループ）として、「不法看板等の実態と対策について」の提言をまとめたが、今後は、一般市民にも広く認知してもらい“美しいまちづくり”を目指した市民活動への発展が望まれる。

それには、行政との参画と協働の県民意識の高まりの中、屋外広告物対策においても継続してビジョン委員が積極的に参加し、残された課題解決に取り組んでいくことを願うものである。

平成18年開催の「のじぎく兵庫国体」に向けた“美しい都市景観”づくりが期待されている。



# 地域の魅力を再発見

地域経済の活性化グループ代表 大西 和子

## 1 グループの目的(目標)

「豊かさや賑わいを創出する新たな阪神経済の展開」という壮大なテーマですが、地域が発展する基本は、まず人々の賑わいの創出から始まると考え、手近で楽しめる「おすすめ散策コース」の紹介を活動のテーマにしました。

## 2 活動内容(実績)

各委員が4市1町のおすすめ散策コースの探索を始めました。この活動は健康づくり、仲間づくり、ふれあいづくりに役立ってほしいという我々の願いをこめたものです。

(1) 最初第4分野の委員は22人いるので、名物名産グループとマップ作りグループに分けましたが、平成15年7月28日、両グループが合同で道の駅いなわ、パスカル三田、合鴨農法、ダリア園をバスで見学、その後一つのグループで活動をすすめていくことに変更しました。

(2) 平成15年9月1日から一つのグループとして活動を開始。平成16年3月29日、宝塚商工会議所会議室（ソリオ2）で夢会議を開催し、「おすすめ散策ルート」を発表、地場産の品々やお土産の数々の展示と試食に大盛況を得ました。

### 「おすすめ散策ルート」発掘

最初に各地ロケ地探索ビデオを紹介、その後各自がご自慢の「散策ルート」を模造紙上に書かれた略図と写真で発表しました。



- ① タカラジェンヌコース
- ② 最明寺川流域コース
- ③ 小浜ロケ地コース
- ④ 伊丹お勧めコース
- ⑤ NHK兵庫史を歩いて
- ⑥ 能勢電にゆられて

⑦ ぶらり三田

⑧ 猪名川ふれあい公園めぐり

(3) 平成16年度より、一般にも呼びかけて実際に散策する活動に入りました。7月に猪名川上阿古谷地区を訪問。

三草山の展望を楽しみ、里山、棚田、有機農法の見学、木喰堂拝観、コンピューター制御による大温室で苺の栽培等を見学しました。

(4) 9月は川西の三ツ矢記念館と川西市郷土館を見学しました。

(5) 10月には宝塚方面。阪急山本駅に集合。最明寺川流域を逆のぼり、川西市の満願寺まで歩きました。

(6) 11月には、三田農業まつりに参加して、牛のセリ市を見学しました。

(7) 12月は、伊丹市の荒牧バラ公園、昆陽寺、昆陽池、昆虫館を散策し、4市1町の散策活動を締めくくりました。

## 3 活動成果

小規模農村経営の実情を見聞し、農村地域の活性化や里山・棚田の活用・保全、食の安全、環境保全認識を深めるためにも、都市と農村の人と人との交流が必要と感じました。

身近で地域性に富んだ見どころがたくさんあり、日帰りコースとしてこの地域を再認識できました。

## 4 問題点とその対応

私たちのグループは22人いますが、現役で働いている方も多く、どうしてもより多くの方に活動に参加していただけるかを考え、会合を平日の昼間、夜間、土曜日と交互にしたこともありましたが、参加人数は少なく10人前後でした。参画と協働によってより良い結果を出したいものです。



# アンテナ高く、資質も高くもれない報道

広報部会長 上田 志津香

## 1 活動目標

広報部会は、4分野9つのグループの中から1～2人ずつ集まり、10番目のグループとして発足。第2期阪神北地域ビジョン委員会だより『夢じゃーなる』第1号から第6号を発行した。

『夢じゃーなる』は、各グループの活動をビジョン委員間に知らせ、対外的にもPRし阪神北地域にビジョン委員会の存在を広げる目的を持っていた。特に第2号からは、管内市町長のインタビュー記事「トップと語る」を連載し、市町と県との橋渡し役の一端を担ったと思う。

- ・「トップと語る」宝塚市長
- 第4号発行**（平成16年9月）
- ・表紙／第2分野 おじいちゃんの料理教室
- ・「トップと語る」川西市長
- 第5号発行**（平成16年11月）
- ・表紙／第4分野 おすすめ散策ルートⅡ
- ・「トップと語る」三田市長
- 第6号発行**（平成17年3月）
- ・表紙／阪神北地域ビジョン夢会議
- ・「トップと語る」猪名川町長

## 2 活動内容（実績）

### ①『夢じゃーなる』を発行

#### 第1号発行（平成15年10月）

- ・「第2期阪神北地域ビジョン委員会だより」発行
- ・表紙／第1分野 ライフスタイルグループ プレーパーク

#### 第2号発行（平成16年3月）

- ・『夢じゃーなる』と命名。
- ・表紙／第3分野 水グループ青野ダム
- ・「トップと語る」連載開始。伊丹市長と懇談。



「トップと語る」懇談風景

#### 第3号発行（平成16年6月）

- ・表紙／第4分野 おすすめ散策ルートⅠ

### ②県民だより ひょうご阪神北版

「地域ビジョン委員コーナー」を担当



編集風景

## 3 活動成果

- ①ビジョン委員会の動脈役を果たし、各グループ間の活動がわかったこと。ビジョン委員会の全容がわかったこと。
- ②各分野の活動を公平に、重点的に掲載できたこと。
- ③阪神北地域ビジョン委員会の活動を他県民局にもPR。
- ④「トップと語る」によって、広報部会は、4市1町を訪問し、多少なりとも県と市の架け橋になった。

## 4 問題点とその対応

①現在『夢じゃーなる』は、阪神北県民局ホームページに掲載されているが、このペーパーをなくしてしまうことは、一般の人にとってまだ時期早尚のような気もする。しかし、これは今後の課題として、その方向も考えなければならないと思う。

②第2期の広報部会の面々は、偶然とはいえ、人材に恵まれていたと思う。少なくとも、労を惜しまない人ばかりであった。今後も機関誌発行は、編集力や文章能力も必要ではあるが、感性に恵まれ、労を惜みず、バランス感覚のある人材を選考することが大切と思う。

# 市民と行政との新たなつながりをめざす

連絡調整会議代表 赤松 弘揮

## 1 グループの目的（目標）

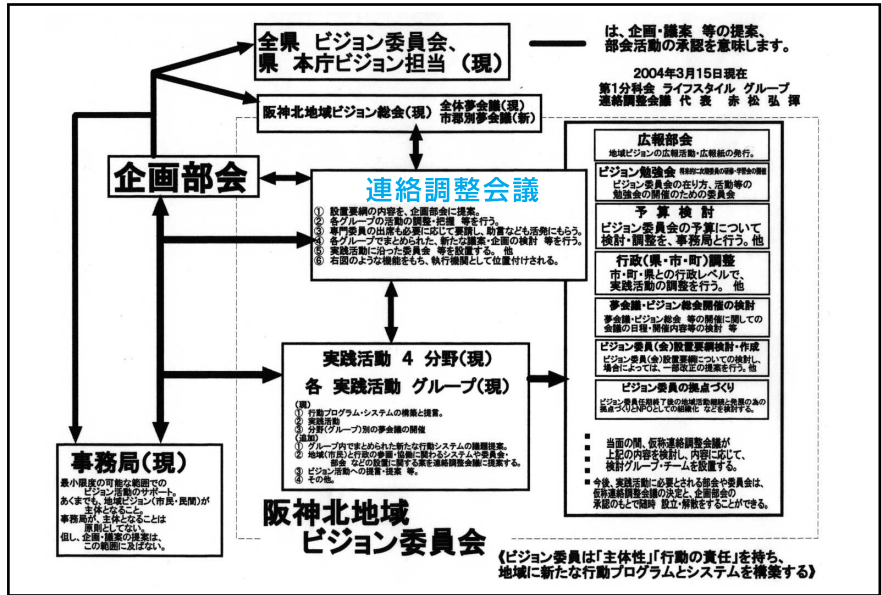
このグループは、阪神北地域ビジョン委員会設置要綱に基づき設置された。

これまでの委員会運営は、企画部会が行うこととなっているが、年間2回程度の開催で、実質は事務局（県民局）が担っていた。それでは、ビジョン委員の実践活動にそぐわずスピーディーな対応ができないばかりか、各グループの活動を横断的に把握することが困難な状況であった。

こうしたことから、行動の主体を事務局からビジョン委員会に移行し、各グループの実践活動と行動プログラムの作成、さらに全県に対する実践行動プログラムの提案等のために、柔軟かつ迅速な対応が可能となった。

主体性と行動責任をビジョン委員が担うことで、より活動的なビジョン委員会となり、部会や委員会などの設置、設置要綱の見直しの提案、

予算の検討、委員の学習会、行政間の調整、広報等、ビジョン委員会の主体的行動を円滑に行うための調整をすることを目的とした。



## 2 活動内容（実績）と成果

ビジョン委員の主体的な行動と組織の横断的な交流があった。

- ①活動パネルキャラバン：さまざまな地域でビジョン委員会活動をPR  
活動組織の横断的な交流/阪神北教育事務所 教育推進会議でも活動パネルの展示
- ②自主的な夢会議の開催：4市1町の5地域での夢会議の開催。  
猪名川町での開催は、台風接近により残念ながら中

- 止となり1地域のみ未開催。
- ③夢会議や総会などのオリジナル化：形骸化した会議を委員の柔軟なアイデアで、新たな会議の形を模索。  
ポスターセッション、中止となったが冒険広場の実践活動との共同（足湯会議）  
人と自然の博物館でのサイエンスショーとの共同等
- ④グループ間の交流：グループ間での助け合い等
- ⑤予算の検討：3期募集や運営に関する提言等

### パネルキャラバン風景



## 3 活動の問題点とその対応

- 問題点1：ビジョン活動が広がらない。  
その対応：パネル展示・広報紙の発行。
- 問題点2：連絡調整会議の運営意義が理解されない。  
その対応：委員会の理念、目的を委嘱前に学ぶ。
- 問題点3：事務局と委員会の役割分担があいまい。  
その対応：役割分担の明確化。
- 問題点4：本庁、全県とのつながりが分かりにくい。  
その対応：直接、懇談できるような場の設定。

- 問題点5：事務局からの「やらなければならない」ことが多すぎることで、グループ活動に集中できない。  
その対応：連絡調整会議として事務局、本庁との行動調整を行う。
- 問題点6：事務局の単年度計画と、委員会在期2年とのギャップができる。  
その対応：事務局も2年間の計画を作成し、委員会と事務局で2年間の活動調整を行う。

## 勉強は生きる糧

ビジョン勉強会運営委員会代表 高木 菊彦・代理 西村 茂

### 1 グループの目的(目標)

ビジョン委員の活動の一つに「ビジョンの普及と啓発」が課せられており、その実践活動の推進のためにも、何故ふるさと兵庫が県民主役・地域主導で長期全県計画でなく長期ビジョンを策定し、阪神北地域も独自の地域ビジョンを作ったのか、またそのめざす社会像は、実践行動プログラムはどんなものなのかを勉強するためにグループを作った。

### 2 「勉強会」の実施

ビジョン委員14人の仲間で、平成15年11月17日(月)に発起人会を兼ね第1回勉強会をもち、今日までに2回の講演会とその反省会、12回の勉強会(16年4月には伊藤順一委員作の「ビジョン活動」パソコンによるプレゼンテーション)を実施した。

#### 第1回 講演会 平成16年2月19日

宝塚市立東公民館 参加29人

講師 杉本 明文氏

兵庫県県民政策部政策室課長(ビジョン担当)

「全県ビジョンの生い立ちとその背景」

「全県ビジョンの項目説明」 「ビジョンの今後の方向性」

#### 第2回 講演会 平成16年5月8日

伊丹市立産業・情報センター 参加108人

講師 中瀬 勲氏

兵庫県立大教授、人と自然の博物館副館長、

阪神北地域ビジョン委員会委員長

「参画と協働」 「ビジョン委員の立場」

### 3 活動成果

県民局担当課員とグループ委員による12回の勉強会は、我々に配布されていた「全県ビジョン」と「阪神市民文化社会ビジョン」を順次通読することを中心に、お互いの疑問や認識の違いをぶつけ合いながら勉強をすることができた。一方、地域社会に対する理解や認識の表現にみられるギャップなどなど、やり残されたことは多々ある。

### 4 問題点とその対応

勉強会開催が月1回(2時間定らず)では勉強には時間が足りないと何人かは思っているし、何人かは会に出ることに苦痛を感じていたかも知れない。しかし、ほぼ共通の認識としては、新規委員に参加した人には、印刷物の配布だけではその後の委員会運営にも大いに問題を残すのでは、との危惧を持った。2期目の何人かと県職員と共同チームみたいなものをつくり、勉強会形式でも1,2ヶ月の時間を掛けて説明するの一案と思われる。もちろん、学識経験者を疎縁にするのではないが、一般県民が共感し、理解できる言葉で説明されることが条件になると思われる。



## 阪神北地域夢会議の 開催結果

- 1 阪神北さわやかフォーラム・阪神北地域夢会議**  
「みんなで広げよう 実践活動の輪」 ～豊かな阪神市民文化社会を築こう～  
〔開催日〕平成15年11月30日 〔場所〕伊丹市立産業・情報センター 〔参加者〕160人  
〔主な内容〕ビジョン委員や管内活動団体の実践活動を情報発信、再発見しあい、各々の実践活動への生かし方や地域の実践活動の輪の拡大方策について相互に確認。
- 2 阪神北地域夢会議・阪神北さわやかフォーラム**  
「阪神北地域のビジョン実現に向けて」 ～ビジョン策定・推進の取り組みを振り返る～  
〔開催日〕平成16年6月13日 〔場所〕いたみホール 〔参加者〕150人  
〔主な内容〕ビジョン委員会各活動グループの活動をポスターセッションにより普及啓発するとともに、良い点や問題点、新たな視点などを討議し、討議結果を発表し合い、今後の取組方策を相互に確認。
- 3 阪神北地域夢会議**  
知的世界を楽しもう「科学するよろこび」を知って ～成熟社会の課題を乗り越えていくために～  
〔開催日〕平成16年11月3日 〔場所〕県立人と自然の博物館 〔参加者〕150人  
〔主な内容〕人と自然の博物館岩槻館長による基調講演の後、ビジョン委員をはじめ、NPO、企業、学校からパネリストを招いて「科学するよろこび」の持つ意義を学習し、このよろこびを広げていく方策を相互に確認。
- 4 阪神北地域ビジョン伊丹夢会議**  
成熟社会における災害時の地域ネットワークを考える  
〔開催日〕平成17年1月16日 〔場所〕スワンホール（伊丹市労働福祉会館） 〔参加者〕33人  
〔主な内容〕静岡県災害ボランティアコーディネーター、新潟中越地震ボランティア、水害で被災した但馬夢テーブル委員会委員長等をパネリストに、実体験に根ざした災害対応の課題を参加者で共有し、高齢化が進む中での地域の自主防災のあり方、対応方策を確認。
- 5 阪神北地域ビジョン川西夢会議**  
みんながいきいきできる地域活動を考える  
〔開催日〕平成17年2月13日 〔場所〕川西市中央公民館 〔参加者〕300人  
〔主な内容〕「わらじ医者」と親しまれる早川一光先生の「いきいきとした年のとり方」と題する基調講演の後、ビジョン委員、市民、行政からなるパネリストにより「高齢者もいきいきできる地域活動のあり方」を討議し、ともに地域社会を支える方策を参加者で共有。
- 6 阪神北地域ビジョン宝塚夢会議**  
これからの地域づくりをみんなで考えよう  
〔開催日〕平成17年3月6日 〔場所〕宝塚市立東公民館 〔参加者〕150人  
〔主な内容〕これまでの活動成果と現在の諸課題を踏まえ、ビジョン実現に向けた取り組みの方向性や展望をグループディスカッション、地域社会への参加の方策、コミュニティの活性化、環境問題への取り組み、地域魅力の再発見について今後の取組方策を相互に確認。

## 総会・企画部会の 開催結果

### 総 会

〔開催日〕平成15年5月17日（総会準備会）、15年6月8日、16年5月8日、17年3月6日  
〔主な議題〕委員会の事業計画、各活動グループの事業計画・活動報告など。

### 企画部会

〔開催日〕平成15年9月11日、16年2月17日、16年4月20日、17年2月24日  
〔主な議題〕委員会運営、委員会の事業計画、各活動グループの事業計画・活動報告、「新たな社会活動システム」の構築に向けた後方支援など。  
〔参加者〕ビジョン委員会副委員長、専門委員、活動グループ代表、各市町オブザーバー、県民局支援担当責任者、事務局

## 阪神北地域ビジョン委員名簿

### 第1分野 ライフスタイルグループ

- 【伊丹市】青木 久子、赤松 弘揮（代表、連絡調整会議代表）、細見 賢治  
【宝塚市】松本 多貴子、三浦 光子、三輪 宏子（勉強会委員）、森本 孝子  
【川西市】上田 志津香（広報部会長、勉強会委員）、木田 幾子、木原 恵美子、助台 三千雄、戸松 嘉宏（副代表）、中村 多喜美、細見 幸己  
【猪名川町】小川 紀之（副代表、勉強会委員）  
【神戸市】村上 忠孝

### 第1分野 世代間交流を考える会

- 【伊丹市】田中 美晴（広報部会員、勉強会委員）、三國 勲、山中 寛  
【宝塚市】北山 孝子、堀 信義（代表、勉強会委員）、前田 美智子（勉強会委員）  
【三田市】中川 勝子（副代表）

### 第1分野 ドリーミィ・ユースグループ

- 【宝塚市】安積 恵美子（代表、企画部会長代理）、岸本 英紀（広報部会員）、橋本 房子（勉強会委員）  
【川西市】笹部 初子

### 第2分野 健康で安心して暮らせるコミュニティづくりグループ

- 【伊丹市】淵上 トヨ子、吉原 勝  
【宝塚市】栢木 啓次、河本 和雄（副代表）、岸 裕子、小山 一子、吉田 和雄  
【川西市】青樹 英夫（代表）、井上 及、木下 絹恵、杉河 ミエ子、丸橋 伸好  
【三田市】野間 貞子（広報部会員）

### 第2分野 コミュニティ第2グループ

- 【伊丹市】高濱 弘子（広報部会員）  
【宝塚市】池田 和子（勉強会委員）、伊藤 順一（代表、連絡調整会議副代表、勉強会副代表）、小原 孝子、榮 泰隆（広報部会副会長）、中村 一雄、廣瀬 隆一、松葉 孝夫、松葉 牧子  
【川西市】伊藤 紀子

- 【三田市】和泉 初美、高木 菊彦（勉強会代表）、辻 萬治

- 【猪名川町】岩瀬 昌美、藤谷 孝夫（副代表）

- 【神戸市】中村 良子（広報部会員）

### 第3分野 ゴミ問題（地球温暖化も含む）グループ

- 【伊丹市】田中 實（広報部会員）  
【宝塚市】大嶋 孝幸、金岡 填代、国山 昌広（代表）、竹中 倭文男、藤野 暁子、森田 秀一  
【三田市】上殿 久、金澤 善顕（副代表）、北畑 八重子

### 第3分野 水問題グループ

- 【伊丹市】谷田 好弘  
【宝塚市】白井 儀、谷口 義郎、早川 安夫（広報部会副会長）  
【川西市】牛尾 巧（勉強会委員）、阪本 富士治、西村 茂（副代表、勉強会委員）  
【三田市】紀野 義成（勉強会委員）  
【猪名川町】大下 章、河端 清五郎（代表）

### 第3分野 都市景観問題グループ

- 【宝塚市】斧原 孝行（代表）、松崎 哲育  
【川西市】氏島 康雄、勘原 勉、米田 孝明  
【三田市】衣笠 安治（広報部会員）、黒木 長通（副代表）、山田 敏彦

### 第4分野 地域経済の活性化グループ

- 【伊丹市】中村 雅光、大西 正記、桂 彰男、細見 勇  
【宝塚市】大庭 弘之（広報部会副会長）、川畑 智英子、小島 悦子、寺川 輝邦（副代表）、野間元 夫佐子（広報部会員）、福嶋 節生  
【川西市】東 茂泰、石原 修、大西 和子（代表）、北野 博司、笹部 とも子（副代表）、高山 修一  
【三田市】阿部 弘明、大石 實、徳田 浩子、西浦 道雄（副委員長）、廣岡 庸禎（勉強会委員）  
【西宮市】池田 則夫

※ 勉強会：ビジョン勉強会運営委員会

## 顧問・専門委員名簿

- 小西 康生（顧問、神戸大学 経済経営研究所教授）  
中瀬 勲（委員長、企画部会長、兵庫県立大学 自然・環境科学研究所教授（県立人と自然の博物館副館長））  
藤本 真里（第1分野担当、兵庫県立大学 自然・環境科学研究所助手（県立人と自然の博物館研究員））  
金川 幸司（第2分野担当、福岡工業大学 社会環境学部助教授）  
澤木 昌典（第3分野担当、大阪大学大学院 工学研究科教授）  
沖野 光二（第4分野担当、兵庫大学 経済情報学部講師）

発行：阪神北地域ビジョン委員会 編集：広報部会

問い合わせ先：兵庫県 阪神北県民局企画調整部 地域ビジョン担当

〒665-8567 宝塚市旭町2-4-15 TEL 0797-83-3101（代表） FAX 0797-86-4379

ホームページ <http://web.pref.hyogo.jp/hanshinkita/vision/v-index.html>